

高知県における平成18年7月分の電力需給状況

< 需 要 >

・販売電力量計では、4億1千5百万kWh時、対前年比100.9%となった。

(表-1, 図-1)

[需要の内訳]

・家庭用などの「電灯」は、対前年比99.6%となった。

・事務所ビル・大型商店などの「業務用」については、7月上・中旬の気温が前年に比べ高めに推移した影響などから、対前年比102.5%となった。

(表-1)

・産業用の「大口電力」は、機械、紙パルプ、繊維、などが前年を上回ったことなどから、対前年比105.3%となった。

(表-2, 図-2)

< 供 給 >

・月平均の全社自流式出水率は、125.2%。
(上旬129.1%, 中旬114.4%, 下旬131.4%)

・月末の全社貯水池保有量は、1億7千9百万kWh時で満水比73.2%。

(表-1) 需要実績

[百万kWh, %]

		高 知 県				全 社 計			
		当 月		累 計		当 月		累 計	
		電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	145	99.6	556	100.7	709	97.6	2,832	101.6
	電 力	37	94.5	138	95.4	178	89.7	649	93.7
	計	182	98.5	694	99.6	887	95.9	3,481	100.0
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	123	102.5	391	100.9	636	102.8	2,040	102.5
	産業用電力	110	103.2	416	104.1	914	103.7	3,519	102.8
	(再掲)大口電力	(69)	(105.3)	(270)	(106.8)	(681)	(105.4)	(2,688)	(103.9)
	特定規模計	233	102.8	807	102.5	1,550	103.3	5,559	102.7
販売電力量計		415	100.9	1,501	101.1	2,437	100.5	9,040	101.6

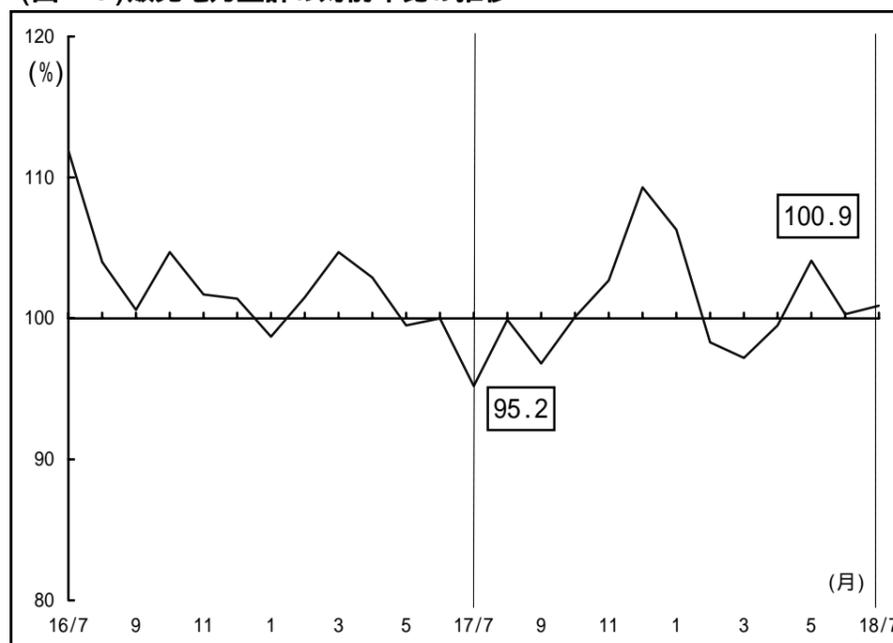
(注1) 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。

(表-2) 大口の産業別内訳

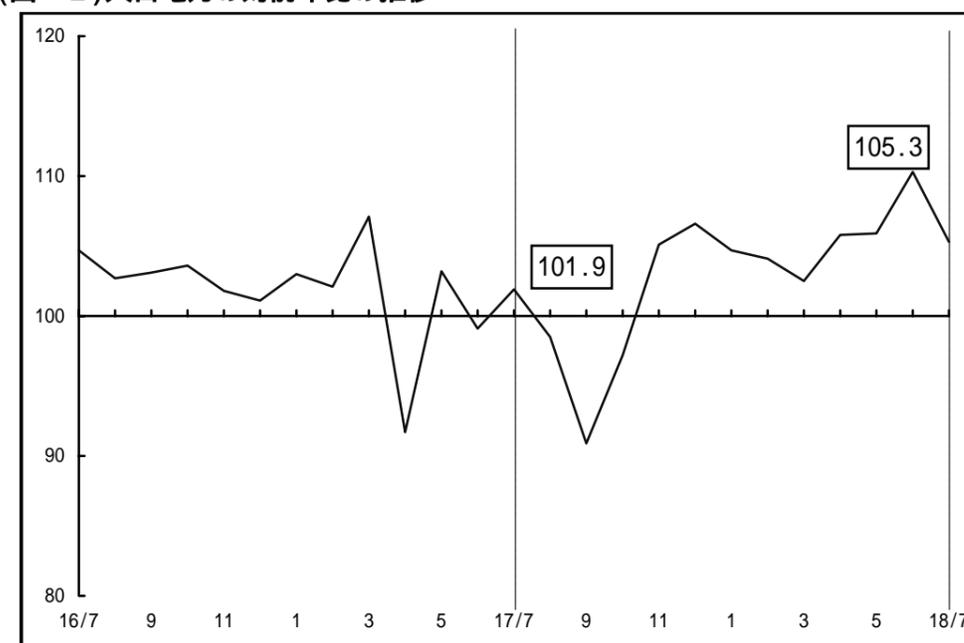
[百万kWh, %]

	当 月		累 計	
	電力量	前年比	電力量	前年比
機 械	26.9	109.3	99.5	108.6
化 学	10.8	95.4	50.8	106.9
紙パルプ	11.5	109.2	44.0	105.5
鋳 業	3.3	106.8	12.8	106.7
織 維	2.9	125.2	10.0	123.6
鉄 鋼	2.6	101.0	10.0	102.3
そ の 他	11.5	99.7	43.3	102.1
計	69.5	105.3	270.4	106.8

(図-1) 販売電力量計の対前年比の推移



(図-2) 大口電力の対前年比の推移



< 参考 > 高知市内の平均気温

	6 月				7 月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実績	22.2	23.5	24.4	23.4	26.2	27.9	27.8	27.3
平年差	0.5	0.9	0.7	0.7	0.9	1.3	0.5	0.9
前年差	0.5	0.9	1.5	0.9	1.5	0.2	0.9	0.2